**各都府県警察が情報発信している防犯情報の例**

・在宅時でも施錠するなど、戸締まりを徹底すること

・訪問者に対して不用意にドアを開ける前に、まずドアスコープやインターフォン越しなどで確認すること

・対応する際も、インターフォン、ドアチェーン、ドアロック越しに対応すること

・外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか、よく確認すること

・電話等で在宅状況、家族の状況、資産状況を聞かれても答えない

・自宅に必要以上の現金を置かないこと

・不審を感じた場合には、ためらうことなく１１０番通報すること

・防犯性能の高い建物部品（錠、ドア、ガラス、防犯フィルム、シャッター等）を活用すること

・防犯設備機器等（防犯カメラシステム、センサー付きライト、テレビ付きインターフォン等）を活用すること